



園児と一緒に競技を楽しむ参加者

スポーツで親睦深める 身体障害者福祉スポーツ大会に150人参加

6月30日、養父市身体障害者(児)スポーツ大会が、市立おおやスポーツセンターで行われました。

これは、市身体障害者福祉会の会員相互の親睦を深めることを目的に毎年実施しているもので、この日は約150人が参加しました。

開会式では、同福祉会の日下部美明副会長が「無理をせず、自分なりの力を発揮して、今日1日楽しく過ごしましょう」とあいさつ。競技が始まると、大屋幼児センターの園児約30人が会場を訪れ、参加者と一緒に競技に参加し、和やかな雰囲気の中で親睦を深めていました。



作家・山田風太郎さんを偲ぶ 命日に合わせ「第3回風々忌」

関宮出身の作家で数多くの小説を世に送り出した故・山田風太郎さんの命日である7月28日、第3回風々忌(山田風太郎の会主催)が旧関宮小学校で行われ、会員ら15人が参加しました。

式典では同会会長の小谷稔さんが「今年も風太郎さんを愛する人が集まり、風太郎さんも喜んでいてと思います」とあいさつをした後、全員が遺影に向かって手を合わせ故人を偲びました。

式典後には、同日から山田風太郎記念館で始まった特別企画展「山田風太郎と絵画」を見学。同展では、風太郎さんが旧制豊岡中学校(現豊岡高校)時代以降に描いたスケッチなど約30点が展示されています。(12月27日まで開催)



▶特別企画展を見学する参加者ら

高原に咲く鮮やかなラベンダー

東鉢伏高原でラベンダーフェス開催

7月8日と9日、ラベンダーフェスティバルが別宮のハイパーポール東鉢スキー場内のラベンダーガーデンで開催されました。

これは、夏山の新たな魅力を創り地域活性化を図ることを目的に東鉢伏高原体験村(西谷茂廣代表)の主催で行われたもので、会場には約1万株のラベンダーとハーブが咲き誇り、一帯はすがすがしい香りに包まれていました。

このほか、ラベンダーをリボンで編みこむラベンダースティック教室やラベンダーティーの試飲、スタッフ手づくりのラベンダーグッズが販売され、来場者はラベンダーの魅力を楽しんでいました。



一面に咲くラベンダーを摘み取る来場者



伊佐小学校鼓笛隊の先導でトンネル内をパレード

地域を結ぶ新トンネル開通

浅間トンネル開通式で完成祝う

養父市八鹿町浅間と豊岡市出石町暮坂を結び県道宮津養父線の新「浅間トンネル」が7月2日開通し、養父市側出入口で開通式典が行われ、養父市と豊岡市、国県関係者や地元住民ら約100人が念願の開通を祝いました。

従来の浅間トンネルは、道路幅が狭いうえ歩道も整備されていなかったため、大型車や歩行者の通行が非常に困難な状況でした。これを改善し、安全で円滑な道路交通を確保するため、県八鹿土木事務所が平成14年度に浅間トンネル建設工事に着手しました。開通した新トンネルは、歩道付きの片側1車線で全長365メートルです。

井戸敏三知事は「新トンネルの完成により交通量は何倍にもなると思う。但馬地域の発展に役立つものと確信している」とあいさつ。梅谷馨市長は「事業推進に尽力された佐々木憲二前市長も喜んでいると思う。よい道を造ってもらったので、我々はよき里づくりを進めていく」と述べました。

また、関係者が記念碑の除幕やテープカット、くす玉割りで完成を祝った後、伊佐小学校鼓笛隊の先導のもと出席者全員がトンネル内を歩き、地域間交流の促進が期待される新トンネルの完成を喜び合いました。

くす玉を割り完成を祝う関係者



迅速・確実な操作技術を競う

養父市消防団が消防操法大会を実施

7月23日、養父市消防団(片岡稔団長)による第1回消防操法大会が若杉高原おおやスキー場駐車場で実施されました。

この大会は、団員の消防技術の向上と士気の高揚を図ることを目的に実施されるもので、事前に行われた各方面隊大会の上位入賞チーム(小型ポンプの部8チーム、ポンプ車の部4チーム)が出場。各チームとも日ごろの訓練の成果を存分に発揮し、迅速かつ確実な動きを披露しました。



小型ポンプの部で優勝した八鹿第5分団

大会の結果は次のとおりです。

【小型ポンプの部】

- 優勝＝八鹿第5分団 ■準優勝＝養父第1分団
- 第3位＝関宮第1分団

【ポンプ車の部】

- 優勝＝関宮第4分団 ■準優勝＝八鹿第1分団

ポンプ車の部で優勝した関宮第4分団

